

男女共同参画

日本の男女共同参画は進んでいる？
遅れている？

企画課男女共同参画推進室

☎ 23 1 3 9 1 7

世界各国の男女の平等度合いを数値にしたものに、ジェンダー・ギャップ指数があります。これは、経済、教育、保健、政治の4分野における男女の格差を測る指数で、100%を完全な男女平等としています。一番男女の格差が小さい国は85・8%でアイスランド、次にノルウェー、スウェーデン、フィンランドの順番で北欧諸国が続き、世界平均は68・0%となっています。日本に目を向けてみると、66・2%で世界149カ国中110位という結果となり、特に政治分野（112・5位）、経済分野（117位）の男女格差が大きくなっています。その理由として、政治分野では国会議員の女性比率の低さ、経済分野では管理職に占める女性の割合の低さが挙げられています。

日本においては、国会議

員や経営管理職など、社会の仕組みや制度に影響力を持ちリーダーシップを発揮できる分野で、男女格差が大きいことが分かります。政治や経済分野で女性が能力を発揮できる環境を整え、意思決定の場に女性が增えることで、社会は変わっていきます。また、若い世代の女性が、ロールモデル※に出会い、将来さまままな場でリーダーシップを発揮したいという意識を持つ機会を作ること大切で

※行動や考え方の模範となる人物

順位	国名	指数
1	アイスランド	85.8%
2	ノルウェー	83.5%
3	スウェーデン	82.2%
4	フィンランド	82.1%
5	ニカラグア	80.9%
6	ルワンダ	80.4%
7	ニュージーランド	80.1%
8	フィリピン	79.9%
9	アイルランド	79.6%
10	ナミビア	78.9%

ジェンダー・ギャップ指数
(上位10カ国)